

関東・東海・近畿三地区公立中修旅連 新陣容でスタート 第23回総会ひらく



総会であいさつする宮嶋前会長(中央)



佐々木達三新会長

総会は午後二時三十分、副会長宮嶋之氏(前河内長野市立千

教育の新しい流れに対応 修学旅行の問題研究

修学旅行の問題研究

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(宮嶋明会長・前水戸市立第二中学校長)では、七月四日静岡県において第23回総会を開催し、昭和五十九年度修学旅行報告および昭和六十年役員選出、活動方針・業務計画を決定した。新会長には佐々木達三氏(近畿地区公立中学校修学旅行委員会会長・京都府長岡京市立長岡第四中学校校長)を選出、問題行動特別委員会を中心に、三年間にわたる実態調査の集大成と、新しい時代の教育をめざす修学旅行のあり方を求める研究を推進することとなった。

代田中学校校長が開会を宣し、会長宮嶋明氏、顧問山本種一氏(助全国修学旅行研究協会理事)の挨拶の後、宮嶋会長が議長となり、議事に入った。

上、輸送の安全性の確保、経済性向上を三本柱とする六十年活動方針を承認した。特に修学旅行のあり方につき三地区をあげての目的に向って推進することを「連合委員会」に改めた事情等を再確認し、社会状況の変化に

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
東京都千代田区神田 1-7-7 (郵便番号 100)
電話 2426-2932
電報 3-36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力し、教育効果の充実に努める事は、教育界に課せられた責務でもある。

学旅行の改善向上に資する業務計画を承認し、本年度の問題行動特別委員の選出を行った。三カ年にわたる問題行動の集計結果をいかに発展させるか、修学旅行を各学校の教育課程にどう組み入れるか、さらに教育課程における修学旅行の位置づけ等について活発に意見が交換され、三年間の問題行動に関する集大成は、三地区修旅連から広く他の地区の関係者への周知をはかること意見が一致した。



青森県支部長に小田切明和氏

一 中 本田勝彦(愛知・伊勢山) 運営委員 高橋尹敏(埼玉・喜沢中) 山中貢(三重・明和中) 土居克己(兵庫・深津中) 稲葉幸雄(全修協理事) 顧問 山本種一(全修協理事長) 参与 白滝末紀(同専務理事) 事務局 長 糸賀英一(同修学旅行部長) 特別委員 宮嶋明、南裕之 問題行動特別委員会 委員長 佐々木達三 副委員長 高橋尹敏、本田勝彦 委員 滝田深(栃木・横川中) 大山茂(埼玉・北坂戸中) 小倉巖(岐阜・青山中) 土居克己、村山宗幸(京都・男山中) 植山昇(大阪・箕面六中)

飛行機利用は足らぬ状態 修学旅行基準から

60年度公立校 修学旅行基準から

①宿泊日数 他調査項目については「規定なし」との回答が相当数あるが、この項目のみは「規定なし」との回答は皆無である。これは全国の各教育委員会が、修学旅行においては、なによりも児童生徒の健康安全を優先し、日程の長期化による疲労、発病等を避けるため、教育的、保健的見地から適切な基準を定めたものと解する。

②実施学年 昨年とほとんど変わりなく、小学校では六年六年または五年、中学校では三年、三年または二年、高校では三年または二年、二年が定着している。

③引率教員数 この項目も「規定なし」の回答は僅かである。それに医師や、養護教諭の同行を義務付けているところもあり、ここにも健康

安全を重視する教育委員会の姿勢がうかがえる。 昨年と変わりなくほとんどが普通学級に準ずるとし、引率教員数については、実状に応じて特別な規定によって増員を行っている。

年度	校種	飛行機利用			
		認めない	規定なし	記入なし	認め
58	小学校	0	23	0	0
	中学校	1	19	0	0
	高等学校	6	17	0	0
59	小学校	1	10	14	12
	中学校	1	10	7	7
	高等学校	1	7	6	5
60	小学校	1	16	15	5
	中学校	1	15	15	5
	高等学校	7	12	2	2

④実施許可の基準 これも昨年の変化は認められませんが、「規定なし」が漸減し、「全員参加が原則」が徐々にふさぎ、参加率は向上の傾向にある。

⑤管理職の引率義務 「義務なし」が再び、「義務あり」が漸増している。管理強化とみるより、修学旅行の学校行事としての重要性が高まりつつある証とみなしたい。

風紋

近畿地区中学校の修学旅行は大半一学期で終了した。約六百九十校、二万五千人の生徒が、一万人以上の生徒が、事前指導から実施中の綿密な計画と緊張感で日夜気を張りつめているが、終るといって疲弊が出る。そして、自然良い点、悪かった点の反省がある。これも相手求めるものと同じ反省とがある。ここでは後者について取り上げてみよう。良かった点(自主性)と学級の和が増した(自然の雄大な感動)と見聞をひろめ新しい体験をした(余裕のある行程)事前指導の徹底(修学旅行委員会の設置)体験学習(ハイキング等)の組み入れ(行程)に変化を等々これに対し一考を要する点として(教育方針)に基づき三カ年の計画(ゆとり)がない(他校との接触)と、まの違反(物見遊山の考え)と不注意によるケガ(雨天対策)と一部の問題行動(車中での計画不足)と(宿泊での過)と(方等)と(これからの現象からみて、これからの修学旅行のあり方を考える場)合、どの学校も共通して検討すべき問題として(自分たちの修学旅行であるという自覚)指導と自主性(教育方針)に基づいた修学旅行の意義の達成(一生の意義ある楽しい思い出にする)ためには(日本の旅の伝統をふまえた人間修業の場、ラクラクばかりだとよい思い出とはならない)など、大まかに考えられる(集団訓練の厳しさ)と(日常の学校生活の中で(訓練)見聞学習の意欲(事前指導)の中から生徒の関心が生まれる、態度の改善(解放感)自由時間、レクリエーション)人間ふれ合いの場(これらが両々相まってこそ、よき思い出となる)の、そのため(学校)は(どうすればよい)のであろうか。

「先生、ステキな修学旅行をありがとう」

近畿日本ツーリスト

生徒の笑顔を大切に...

ツーリストの修学旅行。

生徒たちの青春を飾る想い出深いワンシーン。修学旅行は、より有意義な旅にしてあげたいですね。ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は各方面より多大な好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111他 営業所/国内242ヶ所(登録)/海外13ヶ所
◎運輸大臣登録一般旅行業第20号

生徒指導と特別活動・修学旅行

紙数の都合上、その項目についての紹介は次号のとおりである。

「いじめ」問題に関する緊急提言
文部省では「いじめ」問題の深刻化に対応するため、その一環として、今年四月に小学校や中学、高校の教師代表、医学や心理学、生徒指導、さらに青少年問題の学者、専門家などで構成される「児童生徒の問題行動に関する検討会議」を設立、以後、様々な角度から、「いじめ」の原因や背景、対応の在り方を検討してきた。

「いじめ」への対応と特別活動・修学旅行の果たす役割

特別活動・修学旅行の果たす役割

①全教師がいじめの問題の重大性を認識し、実態に眼を向ける。
②学校に児童生徒の悩みを受け入れる場を作る。
③学校全体に正義をのきわたらせる。
④生き生きとした学校、学校作りを推進する。(集団のもつ活力、自然教室など宿泊訓練)
⑤家庭や地域との連携を強化する。
⑥教育委員会において緊急に取り組むべき五つのポイント
①教育相談体制を整備充実する。

文部省教科調査官 高橋哲夫

60年6月 教育界のうごきから

臨時教育審議会(首相の諮問機関、岡本道雄会長)は、6月26日、第24回総会で当面の教育改革について、「教育に関する第1次答申」をまとめ、中曽根首相に提出した。

- はじめに
○第1部 教育改革の基本方向
○第2部 本審議会の主要課題
○第3部 当面の具体的改革提言
第1節 学歴社会の弊害の是正のために
第2節 受験競争過熱の是正のために
(1)大学入学資格の自由化・弾力化
(2)6年制中等学校
(3)単位制高等学校

「はじめに」の項では、昨年9月5日閣内閣総理大臣から受けた諮問、その後の審議経過を述べ、第1部では、第1節教育の現状、第2節教育改革の意義、第3節本審議会の役割、第4節改革の基本的考え方について述べている。この基本的考え方としては、次の8項、①個性重視の原則 ②基礎・基本の重視 ③創造性・考える力・表現力の育成 ④選択の機会の拡大 ⑤教育環境の人間化 ⑥生涯学習体系への移行 ⑦国際化への対応 ⑧情報化への対応。

Table with 2 columns: Position (e.g., 理事長, 理事, 監事) and Name (e.g., 山本種一, 白滝末紀, 永井雄照).

旅のガイドブック 新シリーズ Select 1 日本の旅館 100選. Includes an image of a ryuukan and text about the book's content and price (2200円).

延暦寺会館. Advertisement for a hotel with a table of room types and prices. Includes a small illustration of a person.

箱根高原ホテル. Advertisement for a hotel with scenic views, including an image of the hotel building and surrounding landscape.

防災布団リース. Advertisement for fireproof bedding rental services, featuring the logo of the manufacturing company.

京都市火災予防条例改正により 防災寝具の使用. Advertisement regarding the use of fireproof bedding in Kyoto City, including a list of regulations.